

# 日吉地域九条の会 ニュース

2018年1月30日  
第59号  
代表 矢田部俊夫  
連絡先 小嶋勝彦  
港北区日吉本町  
2-40-13  
TEL045(563)9175

## 安倍9条改憲NO! 憲法を生かす政治を

日吉地域九条の会は昨年12月14日(木)、安倍9条改憲を何としても阻止して、“戦争をしない日本”を次の世代に引き継ごうと、いまの改憲派の動き、改憲の内容・意図、メディアに操作される国民投票問題などについて学習し、3000万人署名運動を成功させようと話し合いました。

### 3000万人署名運動に弾みをつけよう!

#### 八木世話人からの報告

「憲法会議」のパンフ『憲法9条を変えて“戦争する自衛隊”にしたいのですか』をもとに勉強したい。

いまの憲法問題は、安倍9条改憲といわれる。2020年までに憲法改正をしたい。9条1、2項は残して自衛隊を明記したいと言いたい。先の総選挙でもそれを公約にした。自民党が選挙公約で憲法改正を掲げるのは初めての事。総選挙の結果、自民党は勝利したとして、憲法改正に向けて走り出している。いま、そういう切羽詰まった状況にある。改憲派の団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(事務局 日本会議)は、憲法改正国民投票の実現、そして過半数の賛成による憲法改正をめざして1000万人賛同者拡大などを推進している。賛同名簿には、「あなたも美しい日本の憲法をつくる1000

万賛同者に!」と呼びかけ、名前、住所、そして電話番号まで記入するようになっていて、「賛同者の皆様には、国民投票の際、賛成投票への賛同の呼びかけをさせていただく」とも書かれている。

安倍首相はなぜ9条を変えたのか。それは、現行憲法のもとでは自衛隊が海外で無条件での武力行使ができないからだ。ホンネは9条2項を削除して「戦力」としての国防軍を憲法に位置づけたいが、国民の強い批判を恐れ、9条1、2項には手をつけず、3項に自衛隊を明記する。国民をごまかす狙いがある。これは自民党内での論議を踏まえて出された改正案ではなく、安倍首相が突如言い出したこと。だから私たちは「安倍9条改憲NO!」と言っている。自衛隊は今でさえ、「自衛のための必要最小限度」を超える装備を保有している。例えば、

いずも型ヘリコプター搭載護衛艦、これはどうみても空母です。さらにF35戦闘機に搭載する射程距離500kmの対地・対艦ミサイル巡航ミサイルJSMを導入する。敵基地攻撃能力のある装備を保有することになる。また、イーリス・アシヨアを来年度予算で導入する。わが国あるいは同盟国に向けられたミサイルを大気圏外で迎撃する地上配備型のミサイルシステムです。1基あたり100億円以上です。さらに、来年(2018年)3月には、陸上自衛隊がアメリカの海兵隊にならって日本版海兵隊といわれる水陸機動団を沖縄に新設する。戦力放棄を定めた憲法9条2項のもとでも、こういう状況です。

(国民投票問題は略。次ページ参照)だから私たちの目標は国民投票をさせてはいけない、国会の発議をさせないことです。ノーベル平和賞授賞式で、被爆者サロー節子さんは「核兵器は必要悪ではなく絶対悪」とその非人道性を訴える感動的な演説をして勇気づけられました。これが、これも力にして3000万人署名運動に取り組みたいと思います。



#### 参加者のおもな意見

意見交流に移りました。

▼「美しい日本の国民の会」の賛同用紙は、舞の海などを代表発起人にして「美しい日本の憲法をつくる」などを謳い文句に、5名を紹介させる。神社の賽銭箱のそばに置いて、うっかり署名をしてしまうかも。

▼「国民の会」の賛同用紙には、「9条は、1項の平和主義は堅持し、2項では自衛隊の憲法上の規定を新設しましょう」などと、平和主義堅持の署名のように装っている。騙されないようにしないといけない。

▼日本会議は憲法改正をめざして、1000万人賛同者推進、国会議員署名、地方議会決議、全都道府県に「県民の会」設立などを取り組んでいる。神社本庁などからの豊富な資金を使って、キヤラバン隊を組んで地方への働きかけを強めている。この近くでは師岡町の熊野神社(宮司は神道政治連盟神奈川本部部長)が中心となり、集会などを取り組んでいる。日本会議の行動をうんと注意する必要がある。

▼私たちの3000万人署名運動は、署名を集めるだけでなく、これをもって対話をしようと呼びかけている。きょう私たちが学んだことを多くの人に伝え、憲法改

【次ページ中段へ続く】

# メディアに操作される憲法改正国民投票

## 土田さんのお話

いまの八木さんの話にもあったが、メディアに操作される国民投票について述べたい。『メディアに操作される憲法改正国民投票』（岩波ブックレット）を書いた本間龍氏は電通に長いこと勤めた、権力側の情報に詳しい方です。

国民投票法は、投票日の前2週間だけテレビCM禁止を規定、それ以外は自由です。憲法改正賛成派、反対派ともいつでも、どこでも運動が可能で、資金・寄付金の規制はなく、その報告の義務もない。手段も予算も時間もまったく自由。国民には「国民投票公報」が配付されるが、主要な情報は広告などによって届けられる。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、車内広告、インターネット、戸別配布のチラシなどを使った広告合戦になる。法律は、広告を出す資金がある方が絶対に有利なようにできている。自民党は、政党助成金176億円、企業献金の9割が集中、

神社本庁や日本会議など支援団体から青天井のカーネ、少なくとも300〜400億円を確保できる。メディアにとつては、国民投票は100年に一度の大特需。テレビ・ラジオの15秒スポット、30秒CM、番組買い切り。新聞は1ページ広告、2ページ見開き広告、週末の広告枠買い占め等々、大プロパガンダ合戦が展開されることになる。改憲派にとつては、有利なように国民投票スケジュールを決められ、宣伝戦略も有利に立てられる。だから護憲派は初動から遅れてしまう。資金力も比べものにならない。改憲派の広告宣伝を担当するのは電通だ。このことこそ、国民投票の勝敗を左右する、と本間氏は言っている。

ヨーロッパの国々はどこも、国民投票でのテレビスポット広告は全面禁止だ。国会発議をさせないことが重要と知り、3000万署名を仲間と取り組みたいと思っている。

## 参加者のおもな意見

【前ページの続き】

悪を許したらどうなってしまうかを分かってもらおう、憲法の意義を改めてつかみ直してもらおう、これも大きな狙いだ。▼300万署名運動に参加してみると、たいへん関心があつて署名に積極的に応じてくれる人とチラシさえ受け取らない無関心な人とに極端に二分化する傾向にあるという印象だ。対話ができるような場所での宣伝が大事だと思つた。市内の小中学校を訪問して先生方に署名をお願いしている。早速、数校から名前がギッシリ埋まった署名用紙が郵送されてきている。

▼私は歌声のサークルで平和の歌を中心に歌っている。いま一番歌っているのは、「あの日の授業」。「あの日の先生は輝いて見えた…」、なぜかというところ、新しい憲法ができたから。私は新制中学校1期生で、新しい憲法を学んだ。



歌と歌の間にナレーションが入るのがまた素晴らしい。こんなことを通しながら、署名を広げている。

▼地域で環境を守る運動をいっしょにやっている人に署名をお願いしたら、できないと言ふ。尖閣列島など中国が攻めてきた場合にどうするか、戦う必要があると言ふ。そういう、一定の戦力を持つた自衛隊が必要だと考える人にもこの署名を広げることが必要だと思つている。

▼森友、加計など権力を私物化する安倍、トランプに言われてすぐに高額のアメリカの武器を購入する安倍。安倍がやっていることをうんと宣伝する必要はある。戦後70年以上日本が戦争をしなかったのは憲法9条があつたからこそ。そのようなワンポイントを述べながら、署名を広げていきたい。

▼…とにかく、憲法は変えさ

▼これまで、改憲は最終的には国民投票で決まるのだし、9条改憲反対が多いから大丈夫と思つていたが、電通のCMをとおして国民がなびいてしまふ危険を強く感じた。たいへんいい勉強をした。

### あの日の授業

- あの日の先生は輝いて見えた大きな声で教科書を読んで下さったほとんど何もわからなかったけれど心に刻まれたあの日の授業(語り)  
そこで、こんどの憲法では日本の国が二度と戦争をしないように二つのことを決めました。そのひとつは兵隊も軍艦も飛行機もおよそ戦争をするためのものはいっさい持たないということです。これからさき日本には陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄というのです。「放棄」とは「すててしまう」ということです。しかし、みなさんはけっして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことをほかの国よりさきに行ったのです。世の中に正しいことぐらい強いものはありません。(以下略)